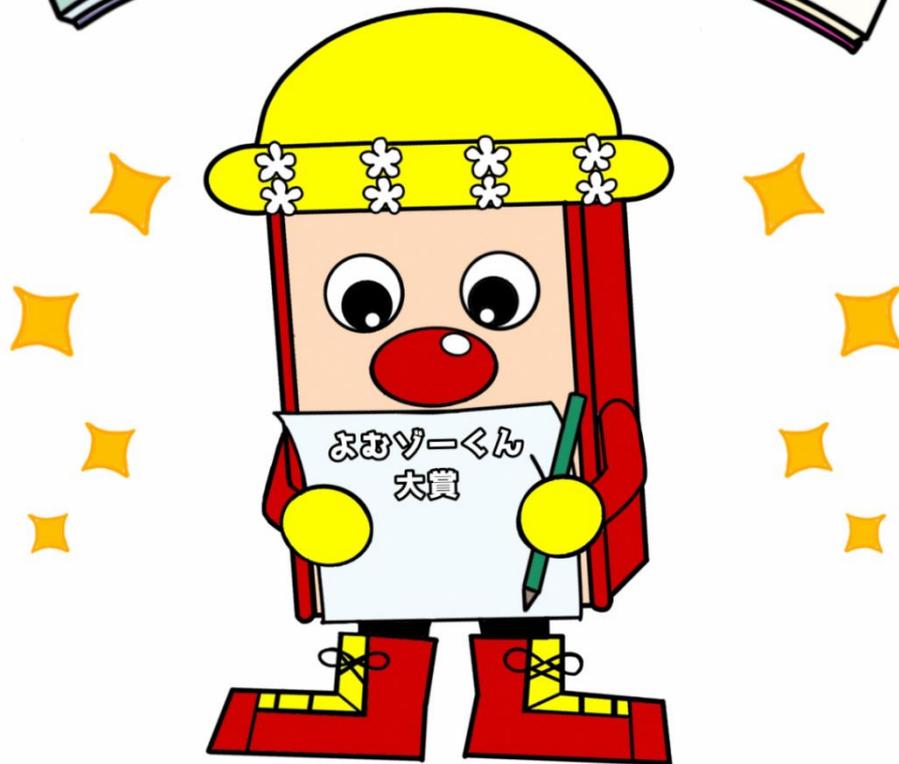


第18回 よむゾーくん大賞 ブックリスト



藤枝市立図書館

はじめに

近年、SNS や動画配信サービスなどが身近になる中で、子どもたちが読書に親しむ時間の確保が課題となっています。また、読書を楽しむ子どもと、読む機会が少ない子どもの差が広がっているとも指摘されています。子どもが本に触れる時間が減ることは、成長期に育まれる感性や表現力、想像力などに影響するおそれがあり、読書に親しむ機会づくりが一層大切になっています。

子どもたちが本の楽しさに出会い、日々の暮らしの中で読書を身近に感じられるよう、家庭・学校・地域をはじめ関係機関が連携し、読書に親しむ機会の充実と環境づくりを進めていく必要があります。

本市では、平成 19 年 5 月に策定した「藤枝市子ども読書活動推進計画」で家庭・学校・地域等が連携・協力して総合的に子どもの読書活動を推進することを掲げ、読書環境の整備に取り組んできました。令和 8 年 3 月には第 5 次計画（令和 8 年度から 12 年度までの 5 か年）を策定し、さらなる推進を図っていきます。

その取組の一つとして、令和 7 年度も、子どもの読書活動の啓発を目的に「よむゾーくん大賞」を開催しました。この事業は、子どもたちが 1 年間に読んだ本の中から「この本をぜひ読んでほしい」と感じた一冊を、文章と絵で紹介するものです。

第 18 回となる今回は、小学生から高校生まで 3,238 点の応募をいただきました。応募作品の中から、市長賞、教育長賞、図書館協議会長賞および入選に選ばれた作品をブックリストにまとめましたので、ぜひご活用ください。

令和 8 年 2 月

藤枝市教育部図書課

目 次

| | |
|----------------|---|
| 市 長 賞 | 1 |
| 教 育 長 賞 | 3 |
| 図書館協議会長賞 | 4 |
| 入 選 | 6 |

各作品の二次元コードを読み取ると、藤枝市立図書館ホームページで紹介されている本の情報を見ることや、予約をすることができます。
ふじえだ電子図書館に所蔵のあるものは、電子書籍の二次元コードも掲載しています。

【市長賞】 小学生低学年の部

藤枝中央小学校 2年

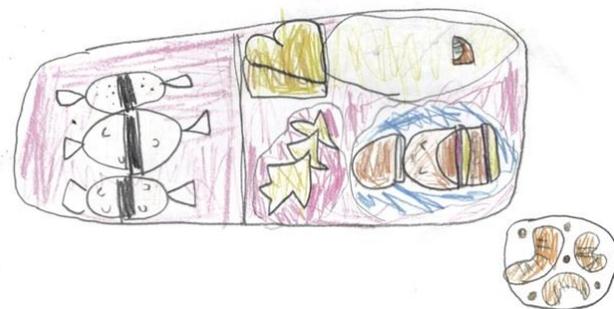
堀井 唯名 さん

『ぼくのおべんとう』

スギヤマ カナヨ/さく

アリス館

Eスギ



わたしは、おべんとうが大好きです。友だちとなかよくつくえをくっつけてたべると楽しいし、いつも大
好きなものばかり入っていておべんとうのふたをあけるときワクワクします。
この本は、あけるとおいしいそうなおべんとうがでできます。いっしょにたべているようなきもちになるし
タコさんウィナーがごはんの下にかくれていておもしろいと思いました。わたしのおべんとうという本
とつなげていておもしろいので、ぜひ読んでみてください。

【市長賞】 小学生高学年の部

大洲小学校 4年

市川 昊青 さん

『としょかんライオン』

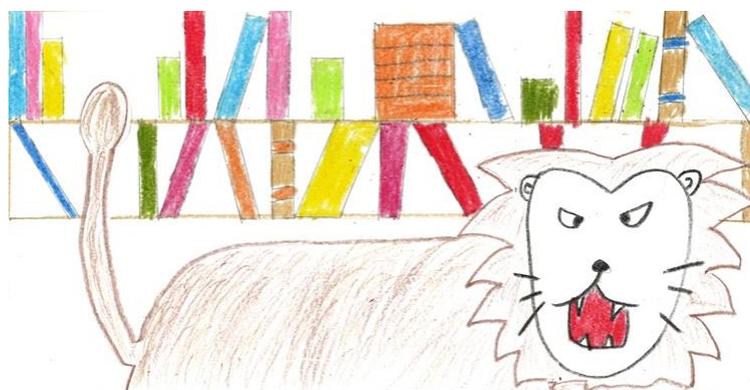
ミシェル・ヌードセン/さく

ケビン・ホークス/え

福本 友美子/やく

岩崎書店

Eホク



ライオンが図書館に来るとい、ちょっとありえない場面から始まります。ルールを守っていれば、ライオン
でも図書館に入ってよい館長。ある事こで決まりをやぶったライオン、自分から図書館を去り、雨にうたれ
るすがたに心がいたくなります。でも、ごかいがとけ、また図書館にもどって来れたのです。ルールを守るこ
とは大切、でも、ちゃんとしたわけがあって決まりを守れないことだってあるのだから・・・それをすてきな形
で教えてくれる本です。

【市長賞】 中学生の部

青島北中学校 3年

西ヶ谷 瑠花 さん

『幸せとは何か？』

木島 英登／作

かんべ みのり／まんが

神戸大学出版会



159キ

予約

ここを
クリック



電子書籍は
ここをクリック

この本は幸せの形が一つではないことを教えてくれます。17歳で車いす生活となった木島英登さんの体験、考え方に心動かされることまちがちなしです。例えば、「成功するまで挑戦したら失敗にカウントされない。」という考え方。これは、失敗を「後退すること」と、とらえている人に響く言葉だと思います。「失敗は許せない、許されない。」といった考えを吹き飛ばしてくれる言葉です。このような幸せを掴む一歩をこの本から踏み出してみませんか？

【市長賞】 高校生の部

藤枝東高校 2年

木原 和都 さん

『氷菓』

米澤 穂信／著

角川書店



YB913.6ヨネ

予約

ここを
クリック

『氷菓』は省エネ主義を信条として掲げる高校生・折木奉太郎が、古典部へ入部したことをきっかけに、学校生活の中で起こるささいな謎を解いていく物語です。文化祭を背景に、古典部の文集である『氷菓』の真実に迫っていく過程が面白く、中でもタイトルがなぜ『氷菓』なのかが明かされた瞬間は特にゾワッとしました。次々と謎を解明していく折木の思考回路が追えるのも魅力のひとつであり、静かな雰囲気ながらも引き込まれる作品です。

【教育長賞】 小学生低学年の部

藤岡小学校 3年 鈴木 莉子 さん

『大ピンチずかん』

鈴木 のりたけ／作

小学館

Eスズ

予約

ここを
クリック



わたしは、四人兄弟です。兄弟が多いと、家の中でたくさんの「大ピンチ」が起こります。この本には、わたしの家でよくある場面がいっぱいで、思わずわらってしまいます。本を読むのがあまりとくいではないわたしでも、一つ一つのお話が短くて楽しく読めました。わらいたい時や、元気を出したい時、気分をかえたい時にぴったりな本だと思います。

【教育長賞】 小学生高学年の部

青島東小学校 5年 杉本 望遥 さん

『レ・ミゼラブル』

ビクトル・ユゴー／作

横山 洋子／監修

岡田 好恵／編訳

スギ／絵

学研プラス

予約

ここを
クリック

908ジ



この本は、罪人のジャン・バルジャンの人生の物語です。この本を読むと色々な所で、感動することができます。と中に、「どうして、こんなことをするんだろう。」と思う所がいくつかあります。私は、そのぎ問に対する答えは全て人を愛する気持ちにかかっていると思います。その、愛の力は人との関係を変えることができるほどです。ぜひ、ジグザグしたジャンの人生を、いっしょに味わってみてください。読み終わるころには、心があたたかくなれます。

【教育長賞】 中学生の部

西益津中学校 1年 小池 幸徳 さん

『僕らは戦争を知らない』

小泉 悠／監修

Gakken

Y319.8ポ

予約

ここを
クリック



電子書籍は
ここをクリック



この本は、特に今起きている戦争のことについてかいてあります。具体例には、ロシアとウクライナの戦争が挙げられていて、「なぜこのような戦争が起きたのか」「他の国はどのようなことを思っているのか」など、自分が知らないことまでくわしく、そして分かりやすかいてあります。僕らは戦争を知らない。だからこそ、遠い国の話と決めつけ目を背けずに、自分達にできることを精一杯やりたいとこの本を読んで感じました。

【教育長賞】 高校生の部

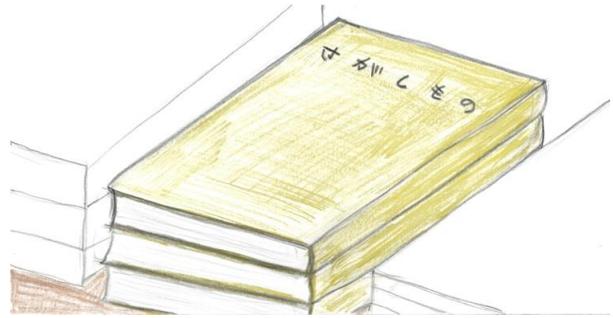
藤枝西高校 1年 山田 優衣 さん

『さがしもの』

角田 光代／著
新潮社

B913.6カク

予約 ここをクリック



私は学校の図書室で「さがしもの」という本に出会った。この本には偶然が重なって生まれた九つの本の物語が描かれている。読んでいっうちに、深く考えすぎるのではなく、少しずつ取り組むことが人生を豊かにする近道ではないかと気付かされた。人とだけではなく、小さなものとの出会いも大切にしていきたいと感じた。多くの本と出会っていきいたい。これからどんな人生を歩んでいくのか、楽しみになる一冊。ぜひ読んでみてほしい。

【図書館協議会長賞】 小学生低学年の部

稲葉小学校 3年 石神 琴菜 さん

『先生、しゅくだいわすれました』

山本 悦子／作
佐藤 真紀子／絵
童心社

913ヤマ

予約 ここをクリック



わたしは、「先生、しゅくだいわすれました」という本をしょうかいします。まず、ゆうすけくんがしゅくだいをわすれて、なぜしゅくだいをわすれたのか理由を先生にっていきます。そうしたら、ほかの子があしたはわたしがわすれようとおもっていたのにと、大さわぎになっていきます。さいごは先生がプリントを作るのをわすれてしまいます。先生までプリントをわすれてしまうなんて。その理由をぜひ考えながらよんでください。

【図書館協議会長賞】 小学生高学年の部

西益津小学校 5年 渡邊 裕翔 さん

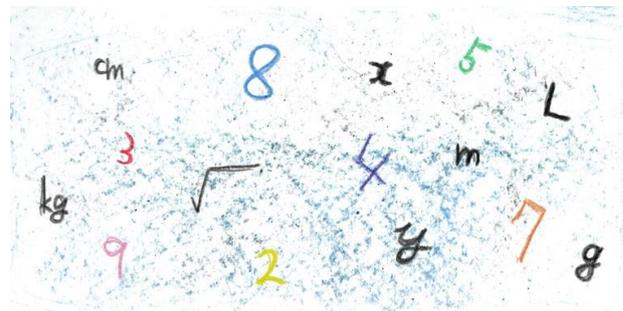
『知れば知るほど好きになる 算数のひみつ』

細水 保宏／監修
高橋書店

410シ

予約 ここをクリック

電子書籍は
ここをクリック



みなさんは算数が好きですか。この本は「数」についてのふしぎなことやおどろくことが書かれています。ぼくが気になったひみつは100万ドルの夜景といわれている理由です。これは夜景の電気代を計算したところ、本当に100万ドルくらいだったのです。電気代のことだと知っておどろきました。算数がきらいでも、読んだらきっと新しい発見があると思います。ぜひ読んでみてください。

【図書館協議会長賞】 中学生の部

岡部中学校 2年 吉野 絢香 さん

『そして、バトンは渡された』

瀬尾 まいこ／著

文藝春秋

913.6セオ

予約

ここを
クリック



あなたは、家族をどのような存在だと思っていますか。私は今まで「一緒にいてあたり前」や「血がつながっている人たち」だと思っていました。でもこの本を読み、私が感じていた家族はあたり前ではなく特別なのだと思いました。家族には色々な形があります。自分のおかれた環境を大事にしながら、支えてくれる人たちに感謝し、毎日を過ごしていけたらいいなと、あらためて教えてくれる本でした。心温まる作品なので、ぜひ読んでみてください。

【図書館協議会長賞】 高校生の部

藤枝順心高校 1年 今村 花暖 さん

『生きるぼくら』

原田 マハ／著

徳間書店

B913.6ハラ

予約

ここを
クリック



私が紹介する本は、「生きるぼくら」です。私達は、はるか昔より、命をいただき生きています。生きるためには食事が大切です。日本人の主食である米。その米は、すべての人が平等に食べられるようにするため、日々農家の方が大事に育ててくれています。その農業が現在、後継者不足や気候の変化などにより縮小しつつあります。大切な米を守るための工夫や苦勞がよくわかる本です。命をつなぐために大切なものは何かを考えさせられます。

【入選】

小学生低学年の部

西益津小学校

1年

國領 紡衣 さん

予約

ここを
クリック

『花さき山』

斎藤 隆介／作

滝平 二郎／絵

岩崎書店

Eタキ

この本には、なみだをためてしんぼうすると、花がさくってきいたときに、とってもかなしくなりました。やさしいことを一つすると一つ花がさきます。こんな山があったらいいなとわたしはおもいました。なんかいよんでもかなしくなるけれど、やさしさでさいたはなは、とてもきれいだろうなとおもいます。じぶんならどんな花がさくかなどそうぞうしてよんでみると、とてもところがあたたかくなります。ぜひよんでみてください。

【入選】

小学生低学年の部

藤枝中央小学校

1年

水野 泰士郎 さん

予約

ここを
クリック

『しりとりしましょ！』

さいとう しのぶ／作

リーブル

Eサイ ちしき

このほんは、たべものやのみものなまえでしりとりをする本です。しりとりをしていくとたまに「ん」がつくことばが出てきます。そうしたらあたらしくべつのことばでまたはじまります。ぼくは、かぞくでじゅんぱんによむのがすきです。いつ「ん」がつくことばが出てくるか、みんなでドキドキしながらたのしくよんでいます。しりとりだけじゃなくて、たべもののえやはいけいもおもしろいので、ぜひよんでみてください。

【入選】

小学生低学年の部

青島小学校

2年

井上 実優 さん

予約

ここを
クリック

『給食番長』

よしなが こうたく／さく

好学社

Eヨシ

この本は、番長たちが、毎日きゅう食をのこすので、きゅう食のおばちゃんたちがなくて家出をしてしまい、番長たちがきょう力して自分たちできゅう食を作るお話です。わたしは、番長たちが自分たちできゅう食を作るところがすきです。番長たちがぜん力で、きゅう食を作ってあせがだらだらたれるぐらいがんばって作っていたから一どは、たべてみたいからです。ぜひ、読んでみてください。

【入選】

小学生低学年の部

青島小学校

2年

大岩 夕珠 さん

予約

ここを
クリック

『ちいかわことわざ100』

ナガノ／著

講談社

814ナ

わたしがすきな本は、ことわざ100と言う本です。この本には、いろいろなことわざがあります。たとえば、うまが合うということわざは、せいかくがよく合い、仲のいいことをいいます。このようにことわざのいみも書いてあっておぼえやすかったです。わたしがすきなことわざは、千里の道も一歩からです。いみは、どんなに大きなことも、目の前の小さなことから始まる。これもことわざ100でおぼえました。ほかにもたくさんあるので見てください。

【入選】

小学生低学年の部

高洲小学校 2年 岩堀 陽岳 さん

予約

ここを
クリック

『11ぴきのねことへんなねこ』

馬場 のぼる／著
こぐま社

Eババ

この本は11ぴきの猫と星の世界の猫が出てくる絵本です。このシリーズの絵本をよく読んでいたのでかきました。星の世界の猫が空飛び船にはっぱをつけている場面がおもしろかったです。星の世界の猫は、水の中で呼吸しながら魚をとったり、ふしぎな星の世界の花火を持っていたりとすごい猫なんだと思いました。ぼくも家族とおほしさま花火をやってみたいです。猫と宇宙が好きな人におすすめです。

【入選】

小学生低学年の部

高洲小学校 2年 徳生 彩月 さん

予約

ここを
クリック

『よるのあいだに・・・』

ポリー・フェイバー／文
ハリエット・ホブデイ／絵
中井 はるの／訳
BL出版

Eホブ

みんなは、夜の間にはたらいている人がいることを知っていますか？バスやタクシー、トラックのうんでん手にパンやさんやけいさつかん、びょういんの人たちが夜の間にはたらいているのです。わたしたちがねている間にはたらいている人がいるおかげで朝からおいしいパンが食べられ、夜びょうきになってもびょういんでみてもらうことができるのです。これからは、もっと色々な人にかんしゃしてくらしていきたいです。

【入選】

小学生低学年の部

高洲小学校 2年 村越 翔吏 さん

予約

ここを
クリック

『あの、ここどうぞ。』

くすのき しげのり／作
こがめ たく／絵
偕成社

Eコガ

この本は、女の子とお父さんが、電車にすわっている時のお話です。ぼくは、女の子がゆう気をもって「あの、ここどうぞ」と、言えたところがすごいなと思いました。りゆうは、ぼくが女の子だったら、知らない人に声をかけるゆうきがありません。ぼくも、つぎに電車にのった時は、まわりをみわたして、こまっている人がいたら、ゆう気をもって声をかけてみたいです。

【入選】

小学生低学年の部

西益津小学校 2年 田中 結葵 さん

予約

ここを
クリック

『もりの100かいだてのいえ』

いわい としお／作
偕成社

Eイワ

このものがたりは、オトちゃんと言う女の子が、百かいまでのぼるお話です。わたしが一番すきなところは、いろいろな虫やどうぶつが、あそんだり、何かを作ったりしているところです。どうしてかという、かわいいからです。ほかに女の子が木のたんけんをするところが、自分がいっしょにたんけんをしているような気がして、わくわくするのです。ぼうけんをした気分になれるので、わくわくしたいと思う人は、ぜひ読んでみてください。

【入選】

小学生低学年の部

広幡小学校

2年

原田 紘 さん

予約

ここを
クリック

『うまれたよ！クモ』

新開 孝／写真・文
岩崎書店

Eウ ちしき

このお話は、子どものクモがせいちょうしていくお話です。

ぼくのすきなところは、子どものクモがいっしょうけんめいがんばっておとなになっていくところです。

すきな理由は、虫としては、きけんなばしょでいっしょうけんめいしんどくてもあきらめないでいるからです。ぼくだったらここにいるのが、こわいです。みなさんも、「うまれたよ！クモ」をぜひ見て、読んでください。

【入選】

小学生低学年の部

藤岡小学校

3年

望月 芽依 さん

予約

ここを
クリック

『織田信長』

加来 耕三／企画・構成・監修

すぎた とおる／原作

早川 大介／作画

289オダ

ポプラ社

わたしは、歴史の本を初めて読み、この人物がすごい人だと思いました。

まずは、人じちにとられていた竹千代(家やす)を、信長の弟がいじめていたところを信長が助けたやさしい部分。次に、神が味方していると思わせてみんなにやる気を出させている頭のいい部分。さいごに、自分より弱い人にたおされるなら自分で終わりにした方がいいという負けずらいな部分。

このように、織田信長は強い人だと分かりました。

【入選】

小学生高学年の部

岡部小学校 4年 竹内 心 さん

予約

ここを
クリック

『あつかったらぬげばいい』

ヨシタケ シンスケ／著
白泉社

Eヨシ

ぼくのお気に入りの本は、「あつかったらぬげばいい」という本です。この本では、いやなことがあったら〇〇をすればいいという言葉が入っていてたまにおもしろいことがかいています。自分的にお気に入りの理由は、自分のいやなことがあってもこの本を読めば元気になれるし、自分のなやみもこの本にかいてあることもあり、かいつくできるときもあるからです。ぜひ読んでみてください。そして他のシリーズも読んでみてください。

【入選】

小学生高学年の部

葉梨小学校 4年 星野 沙幸 さん

予約

ここを
クリック

『サイコーの通知表』

工藤 純子／著
講談社

913クド

この本は、4年3組の朝陽、大河、叶希が先生の通知表を作るお話です。3人が、先生のいろいろなことを調べながら先生のよさに気付いていくところがおもしろいです。3組のみんなともいろいろな項目などを話し合っ、だんだん通知表が出来上がっていきます。とても、小学生の気持ちがていねいに書いてあるし、小学生の本音がつまっているおもしろくて、楽しい本です。む中になって読めます。ぜひ、読んでみてください。

【入選】

小学生高学年の部

葉梨小学校 4年 大島 香穂 さん

予約

ここを
クリック

『うたうとは小さいのちひろいあげ』

村上 しいこ／著
講談社

Y913.6ムラ

この本は、短歌部に入部した高校一年生の白石桃子さんが、人間関係になやみながらふんとうする物語です。この本は、色々なてん開があって、時間を忘れて物語に入りこむことができます。そして、桃子さん目線で書かれているので、その時の気持ちがよく伝わります。読み終わったときに、「明日もがんばろう。」と思えました。また、タイトルの意味を考えながら読めば、楽しみながら読めます。ぜひ読んでみてください。

【入選】

小学生高学年の部

青島小学校 5年 土本 光莉 さん

予約

ここを
クリック

『ぼくは犬や』

バク ヒナ／作
長谷川 義史／訳
ブロンズ新社

Eバク

この絵本は、人間の視点ではなく、犬の視点で描かれた家族と主人公「グスリ」の深い絆が描かれた物語です。私の一番お気に入りの所は、キャラクター一つ一つがねん土で作られていて、ちょっとしたしぐさや犬とくゆうの顔がまるで写真みたいにおもしろく作られているのでそこが一番のお気に入りポイントです。また、犬を飼っている人には共感できる所がたくさんあるので、犬が好きな人や犬を飼っている人にぜひ見てほしい心温まる物語です。

【入選】

小学生高学年の部

高洲南小学校 5年 佐藤 結亮 さん

予約

ここを
クリック

『世界はとつぜん変わってしまう？』

百瀬 しのぶ／文

なみごん／絵

B369モ

KADOKAWA

みなさんは、東日本大震災を知っていますか。東日本大震災は、2011年3月11日におきた、東北地方の三陸海岸沖で発生した大地震と、それによる津波などのひがいのことです。この本では「あたりまえ」の毎日が、ある日、とつぜんうしなわれたらを考えたり、実際に被災した人や、ひなんじょを見た人の話がのっている本です。震災のこわさや、今自分たちが震災にどう向きあえばよいかを学ぶことができる本です。

【入選】

小学生高学年の部

葉梨小学校 5年 伊久美 優里 さん

予約

ここを
クリック

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』 汐見 夏衛／著

スターツ出版

913.6シオ

映画をきっかけに知りました。主人公は70年前にタイムスリップして、戦争中の日本で、特攻隊員の彰と出会います。優しい彰に惹かれていく主人公の百合は、特攻で死に行こうとする彰を必死にひきとめますが、彰の気持ちは変わりません。素直に「好きだ」と言えないこの時代で、恋をしてしまった百合と彰の感動の物語です。私はこの本で、「生きること」の大切さを知りました。生きる勇気をくれる、温かい作品です。ぜひ、読んでみてください。

【入選】

小学生高学年の部

青島小学校 6年 植田 翔斗 さん

予約

ここを
クリック

『学芸員しか知らない美術館が楽しくなる話』 ちいさな美術館の

学芸員／著

706.9チ

産業編集センター

美術館が好きならば前から気になっている職業、それは学芸員です。ところで皆さんは、学芸員がどんな仕事をしているのか知っていますか。この本は意外と知らない学芸員の仕事のことや、美術館をもっと楽しむためのヒントが書かれています。展覧会の準備のことや美術館を支える仲間たちのことなど、きっと読んでいなければ知らないことがたくさんできてとても興味深くおもしろかったです。ぜひ、美術館に興味がある人は読んでみてください。

【入選】

小学生高学年の部

青島東小学校 6年 吉村 綾夏 さん

予約

ここを
クリック

『度十公園林』 宮沢賢治童話集より

宮沢 賢治／著

日下 明／絵

鬼塚 りつ子／監修

913ミヤ

世界文化ブックス

知的障害のある主人公が、親に買ってもらった杉の苗七百本を家の後ろの野原にうえます。ですが度十が死んでしまっても杉の木はのこります。新しく家が建っても、田畑がとりこわされても杉の木七百本だけが残ります。この物語で作者は何をつたえたいか、それは便利と利益のために自然がこわされている今を自分の物語としてつたえたかったのだと私は思いました。まさに令和を生きる私達にぴったりだと考えます。ぜひ読んでみてください。



電子書籍は
ここをクリック
(紹介作品のみ)

【入選】

小学生高学年の部

葉梨小学校

6年

内藤 暁音 さん

予約

ここを
クリック

『オツベルと象』

宮沢 賢治／作

長谷川 義史／絵

913ミヤ

岩崎書店



電子書籍は
ここをクリック
(紹介作品のみ)

オツベルは稲からもみをとる工場をやっていました。そこへ白い象が森からやってきて工場です仕事をしはじめるというお話。宮沢賢治は、人間、動物、植物。すべての物がたいとうであることを大切にしてきました。そんな賢治は、オツベルと象を通して2つのことを教えてくれました。「動物だからとなめてはいけない。」「感謝するべき人を大切にしなきゃいけない。」あたりまえのことだけどこの本はあらためて知ることができるのでぜひ読んでみてください。

【入選】

小学生高学年の部

藤枝中央小学校

6年

八木 悠菜 さん

予約

ここを
クリック

『モノのなまえ事典』

杉村 喜光／文

大崎 メグミ／絵

031ス

ポプラ社

わたしの紹介する本は、日常でよく目にするけれど、名前がわからなくて困っているときにとても便利な本です。そして、その名前が分かったものがどのようなものなのかもくわしく書いてあるし、「モノのなまえ事典」は、種類が色々あるので、たくさんの物の名前を知ることができます。ふだん何も気にせず使っていたものや見ていたものにも名前があり、そのもののことも知れる本なので、ぜひ読んでみてください。

【入選】

中学生の部

青島北中学校

1年

山本 大士朗 さん

予約

ここを
クリック

『舟を編む』

三浦 しをん／著
光文社

B913.6ミウ

この本には「大渡海」という辞書づくりに情熱を持って働くたくさんの人々が登場します。「辞書を作る」という一見地味な仕事でも人生をかける人々の姿に辞書の奥深さを改めて考えさせられます。僕たちがあたり前に使っている「言葉」には多くの意味があって、魅力だけでなく、怖さもあります。「言葉」を正しく丁寧に使うことで人生が豊かになるということも気づける一冊です。ぜひ、読んでみてください。

【入選】

中学生の部

岡部中学校

1年

清水 心暖 さん

予約

ここを
クリック

『おもかげ復元師』

笹原 留似子／著
ポプラ社

673.9サ

皆さんは2011年に起きた東日本大震災を知っていますか？この本には、笹原留似子さんという復元納棺師が東日本大震災後に300人以上をボランティアで復元した記録が書かれています。この本をおすすめする理由は、亡くなってしまった方と残された家族が絆を感じ、思い出を分かち合う感動的なシーンや、遺族の感情に深く共感を得られる作品だからです。命の尊さや、今を生きることの重要性などを学ぶことができるのでみなさんもぜひ読んでみてください。

【入選】

中学生の部

西益津中学校

1年

前田 賢臣 さん

予約

ここを
クリック

『光と音のない世界で』

池田 まき子／著
岩崎書店

369イ

みなさんは、光と音がある世界を当たりまえだと思いませんか。その当たりまえの世界が当たりまえじゃなくなったら、みなさんは、不安でいっぱいですよ。そんなみなさんが当たりまえだと思っていることが当たりまえじゃなくなった福島智さんが、そんな想像を絶する苦境の中でけん命に生きる姿をえがいた本です。自分は何のために生きているんだろうと悩んでいるときに、読んでほしい本です。

【入選】

中学生の部

藤枝順心中学校

1年

野田 聖亜 さん

予約

ここを
クリック

『桐島、部活やめるってよ』

朝井 リョウ／著
集英社

913.6アサ

ある日クラスで広まる「桐島が部活をやめた」という話から始まります。お話の中心はまわりにいる友達や部活動の人たちです。学校での立ち位置や、友達との距離、部活への気持ちがリアルにえがかれていて、私たちの学校でもあるかと思える場面がたくさんありました。私が一番心に残ったのは、「みんな同じ場所にいる、見える景色はちがう。」が心に残りました。なぜなら、人によって物事の捉え方などは、みんな一緒の考えではないからです。自分の学校生活と重ねながら読める一冊です。

【入選】

中学生の部

青島北中学校 2年 青木 花綸 さん

予約

ここを
クリック

『伝言猫がカフェにいます』

標野 凧／著
PHP研究所

B913.6シメ

この本は、猫であるふー太が会いたくても会うことができない人たちの架け橋となって、想いを届けようと奮闘していく物語です。猫らしい自由気ままな性格が、自分の悩みは意外と些細なものなのだ気づかせてくれて、とても印象に残りました。当たり前のことのありがたみを感じながら、自然と心が安らいでいきます。自分は誰と会いたいのか、そして、その人にどのようなことを伝えたいのかを考えながら読んでみてください。

【入選】

中学生の部

岡部中学校 2年 内倉 めい さん

予約

ここを
クリック

『スラムに水は流れない』

ヴァルシャ・バジャージ／著
村上 利佳／訳
あすなろ書房

Y933.7バジ

この本は、インドのスラム街に住むミンニが主人公の物語です。ミンニは、深刻な水不足で苦しい生活をする中、水を盗む人々と闘いました。私はミンニが辛く挫けそうになったとき、自分を信じて夢を追いかける姿に胸を打たれました。自分の夢を追うことが、誰かの背中を押すのです。この本は、夢を持つこと、そして、夢を諦めないことの大切さを教えてくれる一冊です。ぜひ読んでみてください。

【入選】

中学生の部

葉梨中学校 2年 大石 琴美 さん

予約

ここを
クリック

『海の世界』

灰谷 健次郎／著
新潮社

B913.6ハイ

漁師の父親と暮らす少年健太と、都会からの転校生と担任の先生が、海で起こっている環境問題について考えていくお話です。大人と子供が同じ体験をすることで、お互いの理解を深め、漁業問題について考えていきます。漁業について知り、きれいな海を守るために、今自分に何ができるのか、考えさせられます。海で働く漁師さんのためにも、この本を読んで海を汚さない努力を一人一人がするようになってほしいです。ぜひ、読んでみてください。

【入選】

中学生の部

葉梨中学校 2年 大塚 紀穂 さん

予約

ここを
クリック

『14歳の君へ』

池田 晶子／著
毎日新聞社

Y100イ

この本は、哲学者の池田晶子さんが中学生に向けて「個性」、「幸福」、「言葉」など16のテーマで人生において何が大切なのかをかいています。この本の内容は少し難しいですが、自分自身を見つめ直すきっかけになり、考える幅を広げてくれるすてきな本です。私はこの本を読んで、言葉にはとても影響力があり、使い方がとても大事だと学びました。また、考えることの大切さも学びました。特に中学生にこの本をおすすめしたいです。

【入選】

中学生の部

藤枝中学校

2年

生松 栞奈 さん

予約

ここを
クリック

『ツナグ』

辻村 深月／著
新潮社

913.6ツジ

自分の人生で一度、一人だけ、もう会えなくなってしまった人に会えるとしたら、あなたは何を伝えますか。この本では、生者と死者の仲介役(ツナグ)をする歩美と、彼が会う依頼人たちの姿が描かれている。私はこの本を読んで、今私のことを応援し、私の幸せを喜んでくれる人に感謝を伝えよう、と胸が熱くなった。照れくさくて、言葉に詰まってしまうことだってあるだろう。でも、そんなときは本の中から歩美がきっと背中を押してくれる。

【入選】

中学生の部

青島北中学校

3年

北川 千晴 さん

予約

ここを
クリック

『「やべー」宇宙の話』

気になる宇宙／著
榎戸 輝揚／監修
KADOKAWA

440.4キ

この本は、学校では絶対学ばない、すごく「やべー」宇宙を知ることができます。みなさんは宇宙についてどれだけ知っていますか？太陽系だとか、銀河とか、木星・金星などなど。名前だけの知識はあるかもしれませんが、この本には有名な星から、名前も知らないすごく不思議な星、宇宙のしくみまで。この広い地球が小石のように感じたり、奇跡的に感じたり。そんな宇宙がみひらき1ページにいくつもつまっています。ぜひ読んでください。

【入選】

高校生の部

藤枝順心高校

1年

小林 溪花 さん

予約

ここを
クリック

『ぎょらん』

町田 そのこ／著
新潮社

913.6マチ

「ぎょらん」それは人が死ぬ際に残す赤い珠。その珠を噛み潰すと死者の最期の願いが分かるらしい。私がこの本を選んだ理由は、「ぎょらん」を通してさまざまな人の死に関わった主人公たちの感情の変化や成長に感動したからです。この本は7編の連作集です。それぞれの話に死者への後悔を持つ登場人物が出てきます。大切な人が死んだとき、自分が死んだとき後悔のないようにするにはどうしたら良いのか？そんなことを考えることができる作品です。

【入選】

高校生の部

藤枝西高校

1年

初鹿野 侑奈 さん

予約

ここを
クリック

『水を縫う』

寺地 はるな／著
集英社

Y913.6テラ

男らしさ、女らしさ、母親らしさ、年寄りらしさ。さまざまな「らしさ」に縛られながらも、自分らしさを探していく物語です。世間に押しつけられた「らしさ」に悩む姿や、否定的な目で見られながらも、自分の好きをとことん突き詰める姿から勇気をもらいました。また、自分の好きや「らしさ」を自分が一番信じ、極めることの大切さを学びました。多様性やらしさ、好きについて深く考えさせられる作品です。

【入選】

高校生の部

藤枝西高校

1年

渡辺 結愛 さん

予約

ここを
クリック

『月魚』

三浦 しをん／著
角川書店

913.6ミウ

あなたにとって、本はどのようなものですか。知識を得るためのもの、物語の世界へ行くためのものなど、人それぞれだと思います。登場人物たちも本に対し、それぞれ違った感情を持っています。それぞれの思う本の姿を通し、一筋縄にはいかない心情や関係性が描かれており、今までに無い、新しい本の捉え方に出会おうと思います。この本に描かれる、月明かりに照らされた魚のような「幽玄の世界」に浸ってみてください。



電子書籍は
ここをクリック
(紹介作品のみ)

【入選】

高校生の部

藤枝西高校

1年

小西 笑加 さん

予約

ここを
クリック

『小説』

野崎 まど／著
講談社

913.6ノザ

優秀な父のもとに生まれた内海集司。集司は5歳の時、「走れメロス」を読み、褒められたことをきっかけに多くの小説を読むようになる。そこで本の面白さを共有し合える唯一の友となる外崎真と出会い、ある小説家が住んでいるというモジャ屋敷に行くことになる。その中で明かされていく屋敷の秘密に次のページをめくりたくなるような一冊です。小説とは何か、ということをも主人公と一緒に考えて考えさせられ、他の小説も読みたくなります。

【入選】

高校生の部

藤枝北高校

2年

池田 凜 さん

予約

ここを
クリック
(上巻)

『諸葛亮』 (上)・(下)

宮城谷 昌光／著

日経BP日本経済新聞出版

予約

ここを
クリック
(下巻)

913.6ミヤ

この本は約1800年前の中国に実在した諸葛亮という偉人の人生を書いた本です。この人物はとても有名な人で、ゲームやアニメなどのいろいろな媒体で扱われています。この人物は簡単に説明すると、とても頭の良い人です。生きていたのが戦の時代だったため、軍を指揮したり、日本で言う総理大臣のような立場になったりしていました。この本では、超人として扱われがちな諸葛亮の人間らしい部分を感じられます。ぜひ読んでみてほしいです。

【入選】

高校生の部

藤枝西高校

2年

山内 莉桜 さん

予約

ここを
クリック

『夜のピクニック』

恩田 陸／著

新潮社

913.6オン

恩田陸の「夜のピクニック」は高校の伝統行事である「歩行祭」を題材とした青春小説です。全校生徒が一晩かけて80キロを歩く中で、友情や恋愛、家族への思いが交錯し、生徒たちは成長していきます。物語の中心には、主人公の西脇融と甲田貴子の複雑な関係があり、普段は接点のない二人が歩行を通じて少しずつ理解を深めていきます。歩くという行為を通じて描かれる青春の姿は、読者に爽やかな感動を与える作品です。

【入選】

高校生の部

藤枝西高校

2年

大石 絵茉 さん

予約

ここを
クリック

『阪急電車』

有川 浩／著

幻冬舎

913.6アリ

兵庫県の阪急電鉄今津線が舞台の作品です。行きつけの図書館で見かけるあの人が電車で隣の席に、純白のウエディングドレスを着た女性が乗り込んでくるなど、この路線を通して人々の物語が描かれています。一人ひとり別のストーリーはありますが、前の駅で登場した人と乗り合わせ、互いに影響を与え合って話が進んでいくのでとても面白いです。自分もこの世界にいるようで、身近に感じられたのでぜひ読んでみてください。

【入選】

高校生の部

藤枝西高校

2年

増田 浩士 さん

予約

ここを
クリック

『アウシュヴィッツの小さな厩番』

ハンリー・オースター／著

デクスター・フォード／著

大沢 章子／訳 新潮社

936オス

「アウシュヴィッツの小さな厩番」は、ホロコーストを生き延びたユダヤ人少年ハンリー・オースターの証言です。彼は収容所で偶然与えられた厩番の仕事により命をつなぎました。絶望の中で馬の存在がもたらした「生きる希望」は、人間の尊厳を守ろうとする力を示しています。この本は過去の悲劇を伝えると同時に、偏見や差別に立ち向かう勇気を私たちに問いかけます。歴史を忘れず、未来を変える力を信じたいと思わせる一冊です。

【入選】

高校生の部

藤枝西高校

2年

志賀 由羽 さん

予約

ここを
クリック

『よだかの星』

読んでおきたいベスト集！宮沢賢治より
B913.6ミヤ

宮沢賢治／著
別冊宝島編集部／編
宝島社



電子書籍は
ここをクリック
(紹介作品のみ)

宮沢賢治特有の美しい言葉選びと、それとは対照的な辛く理不尽な展開が印象的です。外見のせいで他の鳥たちに蔑まれ、良いことをしても気味悪がられる。天に救いを求めても見向きもされない。何をしてもよだかが報われず、読んでいて胸が苦しくなりました。ルッキズムやいじめに通じるものを感じ、これからも多くの人に読まれるべき作品だと感じました。

【入選】

高校生の部

藤枝西高校

2年

杉本 琳理子 さん

予約

ここを
クリック

『ほどなく、お別れです』

913.6ナガ

長月 天音／著
小学館

みなさんは、大切な人の死をどのように感じますか。この作品は、主人公の美空が上司である漆原と共に訳ありの葬儀を担当していく物語です。「決して希望のない仕事ではないのです。一歩先へと進むお手伝いをする、やりがいのある仕事でもあるのです。」という漆原の言葉のように、様々な形の葬儀で故人と遺族に寄りそい、悲しみから徐々に前を向いていく姿に感動します。大切な人との別れは決して悲しいだけではありません。ぜひ読んでみてください。